

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2024.9.1 ~ 9.30)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』791・792号（2024年9・10月）

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	61	30	91
受 贈	0	1	1
合 計	61	31	92

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 19日
閲覧者数 23名
貸出図書 28冊

コピーサービス

学外 16件 6,165枚
学内 2件 116枚

日 誌

- 1日 法政大学大原社会問題研究所蔵平塚らいてう関係資料公開記念展示「らいてうと婦人運動の時代」（於：研究所会議室展示コーナー，担当：井上）（8月21日～10月31日）
- 4日 事務会議，所員会議
大原美術館特別展「異文化は共鳴するのか？大原コレクションでひらく近代への扉」関連シンポジウム「大原ネットワークでひらく近代への扉」（於：語らい座大原本邸ブックカフェ，出張者：藤原，講師：榎（オンライン参加）（～5日）
- 5日 日本労働ベンクラブ「労働遺産」パネル討論
「働く現場の歴史を後世に伝えるために」（パネリスト参加：榎）
- 11日 IALHI（労働史研究機関国際協会）第54回年次総会（於：仏ナンテール大学，出張者：榎）（～14日）
- 15日 戦後失業対策事業研究会（第17回研究会）

- ・中村元（新潟大学人文学部教授）「高度経済成長期の地方都市と失業対策事業・失対労働者運動——新潟市を事例に」
- ・西井麻里奈（名古屋工業大学基礎類准教授）「広島的女性失対労働者の生活史——子連れ就労の経験を中心に」
- ・杉本弘幸（京都府立京都学・歴史館研究員）「全日本自由労働組合と在日朝鮮人——北朝鮮帰国事業・日韓会談への対応を中心に」

- 17日 大原社会政策研究会（第122回）
仲地二葉（中央大学経済学部任期制助教）「コンビニエンス・ストア・システムの「革新性」と小売店舗における労働」
- 18日 運営委員会
①環境アーカイブズRAの承認
②「研究支援に関する学内助成金のあり方を検討するタスクフォース」に関する意見聴取
③客員研究員の承認
雑誌編集委員会
- 25日 月例研究会
杉山遼太郎（兼任研究員）「ジョゼフ・チェンバレンの社会政策構想と政策思想：老齡年金案と関税改革構想」
国際労働問題シンポジウムの打ち合わせ（参加：鈴木玲，田中洋子客員研究員）

大原社会問題研究所雑誌

No.795（2025年1月号）

2025年1月1日発行

定価1,100円（本体1,000円＋税10%）

年間購読13,200円（税込）

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所
編集長／所長 榎 一江

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042（783）2305

印刷 株式会社相模プリント